

森 かな

～須崎地区森林組合広報～



ヒノキ携帯ついに発売!!

- 01 ドコモよりボディーにヒノキを使用した携帯、TOUCH WOOD SH-08Cデビュー!
- 02 須崎地区森林組合より木材供給! 使用木材はすべて中土佐町産材四万十ヒノキ!
- 03 ヒノキの香り漂う～中土佐中学校
- 04 集約化施業について
- 05 作業道ますます延伸中!(須崎市・新荘川南線)
- 06 東日本大震災への義援金について・その他

久礼中学校資材調達事業に取り組みました



●中土佐町久礼の高台に木の香りに包まれた久礼中学校新校舎ができています。新校舎に使用される骨格材は製品市場などにはない特種規格のため、森林組合に資材調達事業の声がかかりました。森林組合では地産地消を取り入れながら調達事業を進めていきました。



●ヒノキの伐採作業です。傷をつけないように細心の注意をし伐倒しました。

●建設中の体育館内部です。天井にはスギ材が使用されています

●まず初めにヒノキ骨格材の梁になる原木探しから取り組みました。陸産に使用される大きさは「12cm×27cm×6.8m」で、原木にすると末口34cm以上、立木では胸高直径45cm以上、90年〜100年生にもなるヒノキが必要でした。森林組合では古い木を持っていた組合員の方々に相談をしながら原木を一本一本集めていきました。



ドコモからボディーにヒノキを使用した携帯、TOUCH WOOD SH-08Cデビュー

須崎地区森林組合が木材供給！使用木材はすべて中土佐町産四万十ヒノキ！

都市と森とがつながるしくみ

さかのぼること数年前・このプロジェクトはスタートしました。『木でケータイ』を作る。人工林の多い日本の森を豊にするには人の手を入れること(間伐)がとても大切です。今回のプロジェクトは、この手を入れることによって発生した間伐材を使うことで、都市で生活しながらでも森づくりに参加できるという機会を創ることを目的としていました。

間伐材を使う。

須崎地区森林組合に課せられたのは『間伐材の供給』でした。間伐材とは森を育てるために伐った木の事を言います。つまり間伐材は森を育てる現場を持つている事業者でなければ供給できない木材です。さらに現在の市場では間伐材のみを区別して流通す



中土佐町農林課 市川文啓氏
中土佐町にある「more trees」の森に関わる町の担当者。中土佐町産ヒノキを使用するキッカケを作った人物。森林組合の木材供給体制の構築も支援した。

る仕組みがないため、間伐材であるという事を証明するには、独自の生産流通体制や、製材・加工・検品・納品の工程を新たに構築することが必要でした。

また今回は間伐材の中でも『元玉材』を使用。元玉材というのは地面から1〜2mの部位の事を言い、加工後に強い反りやねじれが発生するなどの理由から、ほとんど利用されない部分でした。

ヒノキ携帯誕生

モア・トゥリーズとの協定森林のある中土佐町から収穫された間伐材はすべて地元製材所にて製材。その後、須崎地区森林組合にて定められた規格に加工し、検品作業を経て次の工程に移るためオリンパスに納入されます。納入されたヒノキ材はオリンパスの圧縮技術により加工後、シャープの専用設計された本体にポディーとして組み込まれ、ドコモより発売となりました。

『木』と『ケータイ』そして『都市』と『森』それぞれの融合という、途方もない道程の始まりから発売までに費やされた年月は約3年。こうして『ニッポン』ならではの『木のケータイ』が誕生しました。

モア・トゥリーズ

more trees(モア・トゥリーズ)とは、文字通り、「もっと木を」という呼びかけで始められた森林保全団体です。坂本龍一氏をはじめ5人の発起人と、その呼びかけに賛同した世界各国の100人以上の人々によって設立されました。



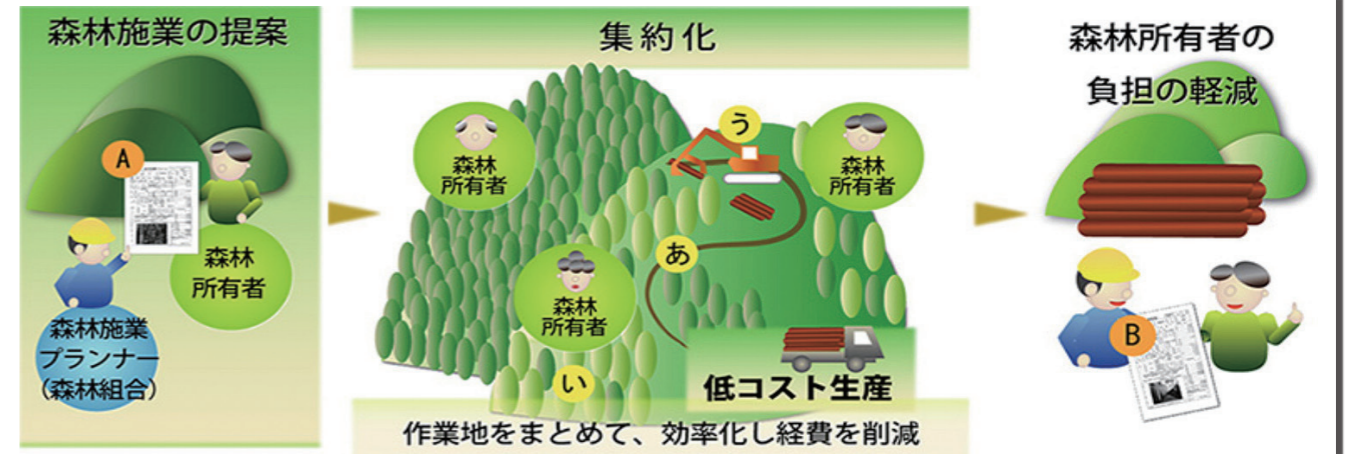
加工・検品チームメンバー
工程管理や加工・検品等を担当。すべてが今まで経験した事のない仕事だったが、試行錯誤を重ねながら木材供給を無事完了させた。
(左) 濱田幸則 (右) 太郎田佑一
(左下) 下元ゆり (右下) 安並栄一



須崎地区森林組合
総務・森林整備課
橋田直尚
今回のプロジェクトにおいて木材供給を担当。安定供給のため、木材流通及び管理体制の構築や加工・検品チームの編成を担当し、指揮に当たった。

※TOUCH WOODは、株式会社ライトニングの登録商標です。
※more treesは、一般社団法人モア・トゥリーズの登録商標です。

提案型集約化施業とは



複数の森林所有者の隣接する林地をとりまとめ、知識と技術を活かして一体的に施業を行うことを「集約化施業」と言います。また、そのためには、森林所有者に分かりやすく森林施業の「提案」を行うことも必須ですので、合わせて「提案型集約化施業」と呼びます。

- ①この辺りの山は少し手入れが遅れているな。一体的に間伐が必要だ
- ②私の山もお願いしたい!
- ③道をどこに入れるか、どのように木材を搬出すれば経費が安くなるかなー?
- ④せっかく育てた木だから大切に取り扱い、作業します!
- ⑤高性能機械を使用し搬出費用も考えて作業します!
- ⑥少しでも森林所有者さんへの還元をする為、努力します。

森林所有者にとって

所有者に代わって森林組合が地域森林のランドデザインを描き、事業量を確保した上で、路網を構築しつつ林業機械を駆使することにより、効率的な木材生産を行おうとするのが提案型集約化施業です。

平成24年度以降全て集約化施業に移行します。皆様のご賛同、ご協力を節にお願いします。

作業道 ますます 延伸中



須崎市下分から上分依包地区にかけての新莊川南岸沿いに、約300haの人工林を集約化した「新莊川南地区森の工場」があります。

現在その工場内において2工区体制により間伐作業道の開設工事を行っています。

この地域は人工林も多く、広範囲に豊かな資源が育成していますが、頂上付近は道からも遠いため、施業を行うためには間伐作業道の開設が必要でした。

全体計画としては、総延長が15,000m以上にも及ぶ間伐作業道となっていますが、平成23年4月現在では山林所有者の方々の協力もあり約3,600mの開設工事を完了することができました。本年度も引き続き開設工事を行います。

森林組合としても所有者の方の期待に応えるため災害にも強く、安心して利用できる作業道となるよう工事を進めています。

森林組合では間伐作業道の見学等も受け付けています。希望される方は森林組合までご相談ください。

なお、工事中は危険なため関係者以外の方の立ち入りは禁止させていただきます。



山の中に自然に道が入っています。



山の作業は危険も多いため毎朝のミーティングで、危険個所のチェックやお互いの作業内容を確認しています。



間伐作業も容易にとりかかれます。



平均年齢28歳と若い作業員ばかりですが、モチベーションも高く、技術も抜群の山師です。安心して山を任せてください。

須崎地区森林組合組合員資格手続き方法

当組合では、現在組合員の整理(調査)をしています。
ご家族で、相続等変更のある方は、組合までお気軽にお問い合わせください。

以下のとおりで資格手続きを致しております。

- 相 続** 組合員が死亡し相続する場合
(相続人が数人ある場合は相続人の同意をもって選定された一人の相続人が相続するものとする。)
- 譲 渡** 組合員が生前中に家族や第三者に出資金を譲渡する場合
- 変 更** 組合員の氏名(改名等)、名称、住所、共有林の代表者の変更が生じた場合
- 脱 退** 組合員が組合を脱退する場合(山林を売却等処分した場合)
(組合事業年度末(3月31日)の手前60日(1月30日)までに提出が必要)

相続等変更に伴い持参するもの

| | 除籍謄本 | 身分証明書 (免許証・保険証等) | 印鑑証明・実印 | 認 印 |
|-----|------|---------------------|---------|-----|
| 相 続 | ○※1 | ○ | ○※2 | ○ |
| 譲 渡 | | ○ | | ○ |
| 変 更 | | ○ | | ○ |
| 脱 退 | | ○ | | ○ |

担当者 竹村・松本

※1 除籍謄本は、死亡した組合員と相続人との関係が確認できる除籍謄本が必要です。

※2 相続にかかる印鑑証明は出資金額5万円以上の場合のみ必要です。

申込書、届出書等は
組合にあります。

私たち須崎地区森林組合でも何か協力ができるまいかと考え、役員及び全従業員から義援金を募り、高知県森林組合連合会を通じて日本赤十字社高知県支部へ送金いたしました。被災者の皆さまと、被災地域の林業・山村が一日も早く復興され、以前の生活に戻られる日を心より待ち望んでいます。

今般の地震は、東北地方の特に太平洋沿岸を中心に森林や林道・作業道、生産施設など森林組合、組合員にも極めて大きな被害が生じているところであります。

東北地方太平洋沖地震・大津波は、広範な地域に想像を絶する規模で甚大な被害をもたらしております。不幸にしてお亡くなりになられた方々にお悔やみを申し上げますとともに、被災されました地域の皆さまに謹んでお見舞いを申し上げます。

東日本大震災

忘れかけていた言葉

先日、保育園児に「おはようございます」と声を掛けられました。何かすがすがしい1日の始まりでした。昔、学校や家庭内で「挨拶が大切ですよ。」と習った記憶が蘇りました。家の中だと何だか照れくさくて声に出せませんが、普段から使っていないと咄嗟に声が出てきません。小さい子供達に習って家庭で、地域で、職場で大きな声で挨拶に心掛けましょう。

イベント予定

在庫処分市

ヒノキ、スギ、その他広葉樹の柱、垂木、壁板、テーブル用天板等、いろいろ取りそろえ在庫一掃大処分市を開催します。全て十分乾燥した製品になっています。以下の予定で開催いたしますので、ぜひご来場ください。

開催日 平成23年7月30日(土)・31日(日)

時 間 午前11:30~午後1:00

場 所 須崎地区森林組合隣接倉庫
(須崎市安和925番地)

親子木工教室

開催日 平成23年7月31日(日)

時 間 午前9:30~午後1:00

木工フェア

開催日 平成23年11月27日(日)

時 間 午前9:30~午後2:00

編集後記

4月から広報担当になりました。はじめての広報担当でしたが、皆さんの協力のおかげでなんとか完成できました。分かり易い広報が完成した、と思っています。森林組合広報に関するご意見、ご要望、取り上げてほしい事柄があればとりいれていきたいと考えていますので、これからもよろしく願います。 竹村

職員の移動

●竹村 洋宣 総務、森林整備課長(旧林産係長) ●谷 正人 業務係長(旧森林整備第二係長) ●橋田 直尚 森林整備係長(旧森林整備第一係長)